

那覇空港の総合的な調査  
平成 17 年度の実施内容（案）

（ 1 ） 既存ストックの有効活用方策の検討

旧タ - ミナル地区を含めたタ - ミナル地区全体整備のあり方検討

- ・ ターミナル地区の施設配置案作成（大阪航空局）  
地域特性を考慮したエプロン、旅客、貨物等ターミナル施設の配置の概略案を作成する。
- ・ ターミナル地区の整備に向けた課題及び対応方策の検討（沖縄県）  
前年度とりまとめた航空利用者のサービス水準の向上を図るための方策について、課題を整理し対応策の検討を行う。

施設や運用の改善による空港能力向上方策の検討

- ・ 空港能力を制約する課題の対応方策（大阪航空局）  
16 年度に検討した有効活用方策により処理能力向上効果を検証する。

（ 2 ） 抜本的な空港能力向上方策の検討

航空利用特性の分析と将来需要予測の検討

- ・ 地域特性を考慮した需要予測手法の検討（沖縄総合事務局）  
地域・航空利用者特性を考慮した那覇空港の将来需要予測を実施し、月別・時間帯別旅客の推算を行うとともに、将来の航空機動向を踏まえた大型化、小型多頻度化等の機材構成の検討を行う。

（ 3 ） 既存ストックの有効活用方策、抜本的な空港能力向上方策の検討の共通項目

空港能力の考え方の整理

- ・ 空港能力の評価指標の検討（沖縄総合事務局）  
航空需要の増加に伴い低下する航空サービスの程度を把握するとともに、那覇空港の航空サービス指標の評価基準を設定する。

空港能力の見極め

- ・ 空港能力の見極め（沖縄総合事務局、大阪航空局）  
空港能力の向上効果、将来需要予測、航空サービス指標をそれぞれ関連づけて空港能力の見極めを行う。